

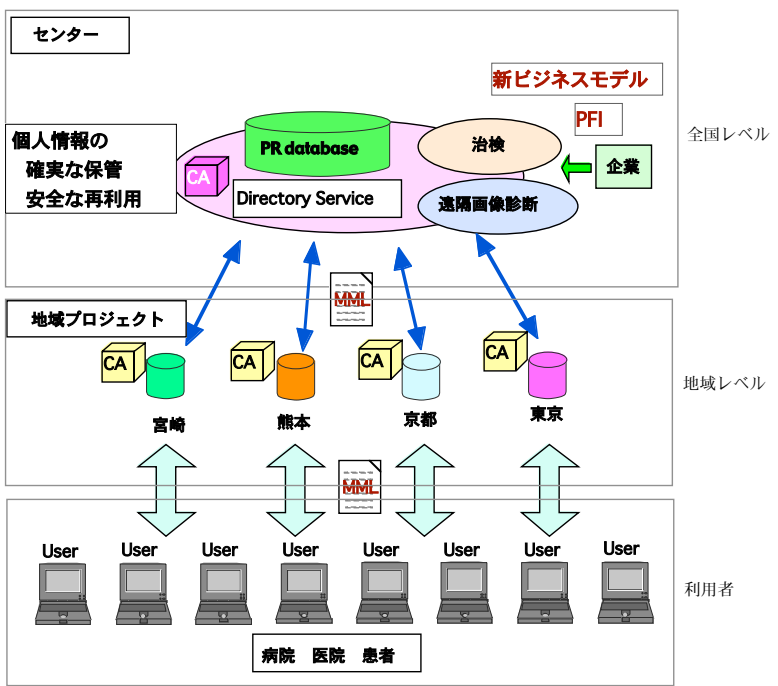
SUPER *Dolphin*

そのコンセプトと現状

統合的スーパーサイトの必要性

地域プロジェクトをバーチャルに束ねる上位のプロジェクト（Super Dolphin）を立ち上げる。Super Dolphinは、各プロジェクトに登録された患者の「名寄せ」を行うsuper directoryの運営を主務とするが、地域プロジェクトへデータベースを貸し出し、地域プロジェクトの初期立ち上げをサポートする。NPO日本医療ネットワーク協会（吉原博幸理事長）の主たる事業の一つとして行われる。

スーパードルフィンセンター構想



東京都公報

目次

一 出題のあった年吉日
平成十七年二月一日

二 特定非営利活動法人の名称
特定非営利活動法人 日本医療ネットワーク協会
吉原 博幸

三 代表者の氏名
吉原 博幸

四 主たる事業所の所在地
東京都千代田区丸の内三丁目三番一号 新東京ビル

五 定款に記載された目的
この法人は、国民に対して、いつでも自分の健康
トーマンコンサルティング株式会社東京事務所
（保健、医療、福祉、介護、情報安全に記録、保管し
かつ参照できる事業を行い、国民と医療機関および保
険、福祉、介護に関わる機関とが共通の健康情報を利用
すること、国民にとって、買した治療および健康管理
を受けることができるという公益に資する事を行う
ことを目的とする。以上原文のまま掲載）

NPO日本医療ネットワーク協会
平成17年2月1日に東京都においてNPO申請を行った。現在、縦覧期間中で、5月末にも正式認可の予定。

- 1) データベース機能経済的基盤の弱い地域プロジェクトの立ち上がり時期に、データベース機能を提供することによって、地域プロジェクトの立ち上げを容易にする（現在の東京プロジェクトの様に）。また、将来に渡って独自のデータセンターを持つことが困難な地方都市において、パーマナントにデータベース機能を提供する。
- 2) スーパーディレクトリ機能
地域ごとに登録された患者基本情報の名寄せを行い、最上位の（日本レベルの）IDを付与する。この機能を持つことによって、同一人のデータが全国レベルで正しくマージされることになる。つまり、患者AのIDは、Super DolphinレベルでのIDを最上位とし、この下に、患者の持つ地域ID（複数）が管理される。同時に、患者データを保持する地域プロジェクトDBのURLも管理されるので、ある地域プロジェクト配下の医療機関に患者が受信した場合、システムがSuperDolphinのSuper Directoryに問い合わせれば、その患者の臨床データがどの地域プロジェクトに存在するかが返信されるので、全国レベルで診療録の一元化が実現されることになる。
- 3) Dolphin Project最上位認証局
現在バラバラな認証関係を整理統合する。さらに上位認証には、日本医師会、経済産業省などが想定されている。